和楽器バンド

詩吟、和楽器（尺八・箏・三味線・和太鼓）、ロックバンド（ギター・ベース・ドラム）の融合による8人組の和楽器バンドが本誌初登場！ 国内のみならず海外でも圧倒的な人気を誇る彼らの結成秘話や個々の音楽ルーツ、4月25日にリリースされたばかりのニュー・アルバム『オトノエ』についてなどをたっぷりと聞いた全員集合のロングインタビューをお届けします!!

Photo ⇒竹中圭樹（D-CORD）
Text ⇒武市尚子

鈴華ゆう子 [Suzuhana Yuko_Vocal]

■初登場になるので、バンド結成の経緯とそれぞれの音楽ルーツを詳しく訊きつつ、4月25日にリリースされた5枚目の最新アルバム『オトノエ』についても訊いていけたらと思っています。まず、結成の経緯から訊いてもいい？ 結成は2013年なんだよね？

鈴華ゆう子（ヴォーカル）「はい。和楽器バンドは8人編成なんですけど、それぞれがある程度の音楽活動のキャリアを持った状態で結成されたバンドなんです。そのキャリアの中で出逢ってきたメンバーで、私がみんなに声をかけて集めました。最初は、ベースと三味線が違うメンバーだったんですけど、結成とデビューに向けて本格的に動き出した時に今の8人に固まったんです。一番最初のきっかけは、私と大さん（神永大輔）がTwitterで知り合ったところからですね」

神永大輔（尺八）「Twitterで鈴華さんが箏と尺八を探しているのを見て、面白そうだなと思って、僕から連絡を取ったんです」

鈴華ゆう子「私は母がピアノの先生で昔からクラシックピアノをやっていたので、その流れで、最初は箏と尺八とクラシックピアノで弾き語りをするというスタイルで歌をやっていたんです。それから、もう少し視野を広げるために、リズム隊とかも入れて幅広く音楽をやっていきたいなと思うようになって。そんな中、山葵とかマッチー（町屋）にイベントで知り合ったんです。2012年頃の話なんですけど、その頃って、自分で自分のパフォーマンスを動画でアップするシーンがとても盛り上がっていたので、そういうシーンのイベ